



**音色が重なり合う  
ハーモニーが魅力**

” 苦小牧オカリナサークル  
” そよかぜ “

平成17年から続いているサークルで、代表者である先生に教えてもらいながら、現在8人で童謡や民謡など色々なジャンルの曲を演奏して楽しく活動しています。

オカリナは、その形からイタリア語で「小さいがちょう」を語源としています。土を原料として素焼きにより作られ、サイズは大小

さまざまあり、小さくなるほど高い音域を奏することが出来ます。指穴がたくさん開いている方を上にして持ち、左右の指で穴を塞ぐことで音程を調整して演奏します。リコーダーのように簡単に演奏出来るように思われがちですが、オカリナ一つ一つの音が違い、吹き方や指穴の押さえ方でも変わるため、初めはきれいな音を出すまでが難しいそうです。根気良く練習して周りの人に少し近づけると楽しくなり、吹けば吹くほど夢中になっていくと会員の方は話します。

オカリナの特徴は、土で出来ているため独特で優しい、なめらかな音色を奏でるところにあります。合奏した時にその優しい音色が、それぞれのパートを引き立たせ合うので、「音楽に興行きをもたせるハーモニーに心地よさを感じます」と代表者の方は魅力を笑顔で話

**苦小牧オカリナサークル  
”そよかぜ”**

代表 / 谷口 陽子さん  
☎34-0436  
活動日 / 毎週木曜日  
9時～10時50分  
活動場所 / 住吉コミセン

**楽器紹介  
～オカリナ～**



サイズは大小さまざまあり、大きさによって奏でる音域が違います

**語源**

イタリア語で「オカ」はガチョウ、「リナ」は小さなを意味します



**歴史**

オカリナと同じ原理を持つ土笛が紀元前から各国で存在していました。19世紀後半、イタリアで西洋音階を演奏できるように考案され、ほぼ現在の形となりました



**市民のひろば**

**ぼくのわたしの夢** とまこまいの子どもたちの夢



聞いてみました!

内山君には二つの夢があり、一つはスピードスケートでオリンピックに出場することです。現在少年団に所属し「長距離が得意。自己ベストがでると嬉しい」と楽しさを感じながら、もっと上位を目指すため「辛くても逃げずに努力していく」と強い意志を持ち、頑張っています。二つ目の夢は、高校の先生をしているお父さんのような学校の先生になることです。「どんなに疲れていても遊んだり、勉強を覚えてくれるお父さんが好き。人の事を考えてあげられる先生になりたい」と、お父さんへの感謝と憧れの気持ちが夢のきっかけとなっているようです。

夢への強い意志と感謝の気持ちをもち合わせている内山君。きつと、どちらの夢も叶え立派な選手として先生として活躍することでしょう。



内山 朝陽くん  
(澄川小学校5年)

**夢はスピードスケートの選手と学校の先生**

小・中学生の皆さんの「夢」を200字程度に書いて、写真を添えて送ってください

**今月の表紙**



～ 明德小学校運動会 ～

6月12日(日)に開催された明德小学校運動会の「明德宅急便」競技中の様子。赤組も白組も仲間や父母の大きな声援を受けながら、勝利を目指して一生懸命頑張っていました。

**タウンスケッチ**

～ まちの出来事 ～



**救命方法を学ぼう  
「普通救命講習会」**

いざという時のために救命処置の方法を知ってもらおうと、6月10日(金)に教育・福祉センターで普通救命講習会が開催されました。参加した10人は、人工呼吸や胸骨圧迫、AEDの使用方法など応急手当のスライド説明と実技を学びました。緊急時に慌てず対応することができるようになりました。

インターで普通救命講習会が開催されました。参加した10人は、人工呼吸や胸骨圧迫、AEDの使用方法など応急手当のスライド説明と実技を学びました。緊急時に慌てず対応することができるようになりました。

**爽やかな汗を流そう  
「スイープアップ教室」**



日新温水プールではスイープアップのためには水泳や体操、エアロビクスなど複数の教室が開かれていて、好きなプログラムに参加することが出来ます。この日はバーベルを使って体を引き締める「ボディパンプ」に10人が参加。音楽に合わせてながら運動し、爽やかな汗を流していました。

**親子で楽しく交流しよう  
「赤ちゃん教室」開催!**



6月6日(月)教育・福祉センターで赤ちゃん教室が開催。生後7カ月の赤ちゃんとも母親29組が参加し、保健師による講話と簡単に作れる手作りおもちゃ、赤ちゃんに触れ合う手遊びなどを学びました。母親同士交流しながら、触れ合う親子に笑顔があふれる楽しい時間となりました。